

富岡さん、五味さん、桑田さんの現代陶芸 永年保存、新たに3作品



永年保存が決まった作品と作家。(左から)五味謙二さん、富岡大資さん、桑田卓郎さん＝多治見市本町、東濃信用金庫本店

東濃信金、伝統継承へ選定

東濃信用金庫の「美濃陶芸作品永年保存事業」の本年度選定作品が26日発表され、富岡大資さん(41)＝池田町＝、五味謙二さん(36)＝土岐市土岐津町＝、桑田卓郎さん(34)＝土岐市下石町＝の現代陶芸の3作品が選ばれた。(岡田敬史)

同信金が作品を買い上げ、29回目の本年度3作品を加え、美濃陶芸の発展と伝統工芸の伝承を図る保存事業は1987年にスタート。富岡さんの「ドットⅡ」の「彩土器」は、昨年の国

際陶磁器展美濃でグランプリを受賞している作品のシリーズで、2013年に菊池ヒエンナレ優秀賞に輝いている。赤、青、黄色の原色が鮮やかな桑田さんの「ふたおり鉢」は、柔らかな曲線で現代感覚があふれている。

多治見市本町の同信金本店で発表会が行われ、選定委員長の加藤孝造さんは「新しい陶芸を代表するような若い人の3作品を選んだ」と話した。

3作品は、4月末に完成する同信金研修センター(同市虎渓山町)の展示棟「とうしん美濃陶芸美術館」に歴代保存作品とともに5月7日から半年間展示。その後、市美濃焼ミュージアムでも紹介される。